

## 4月23日：VN指数は続落 (VN-Index -1.08%)

- 本日の取引は、昨日とは対照的に穏やかに始まった。
- 寄り付き直後は昨日終値付近で推移したが、すぐに悲観が広まって指数は下落を始めた。
- 銀行と不動産セクターが市場全体の重しであった。
- 午後にかけて売り圧力の拡大に伴いさらに下落、午前の上昇を打ち消した。
- 117銘柄が上昇、360銘柄が下落、57銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は昨日から9.4%上昇したが、17.4兆ドンと依然として低かった。

### VN30 指数の下げは比較的小幅 (VN-30 -0.52%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、6銘柄が上昇し、残りの24銘柄が下落した。
- FPT (+1.81%)、MWG (+2.47%)、TCB (+2.10%)が指数を支えた主な銘柄であった。
- 一方で大きく下落したのはBCM (-4.17%)、CTG (-2.48%)、GVR (-3.83%)、MBB (-2.65%)、MSN (-3.29%)、VHM (-3.02%)、VIC (-2.38%)など多岐に渡った。

### セクター・個別株の動き

- TCB (+2.10%)は2024年第1四半期の税引き前利益が7.8兆ドン（前年同期比+39%）と好調であったと公表し、株価は一日を通して大幅な上昇を維持した。
- FPT (+1.81%)は同社がAI産業の発展においてエヌビディアと戦略的パートナーシップを締結したことを発表し、その後に上昇幅を広げた。
- 外国人投資家は2960億ドンの売り越しであった。VHM (-3.02%)に売りが集中した一方で、HPG (-1.43%)、MWG (+2.47%)が主に買い越された。



## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。